第１血管造影室

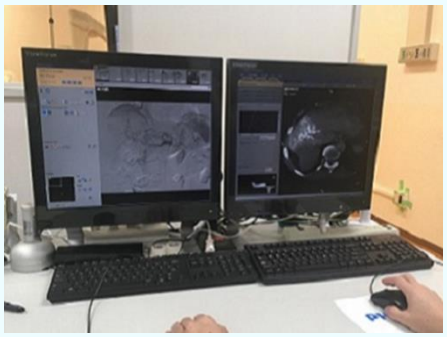
血管造影検査室では主に不整脈医や脳神経内科・外科が使用しており、不整脈治療や頸動脈ステント留置術や脳血栓回収療法などが行われています。IVR は外科手術のようにお腹や胸を切らずに、体内の臓器や血管をカテーテルと呼ばれる細い管などを使用して検査や治療を行う手法です。そのため IVR は、患者さんの体への負担を最小限にできるという特徴を持っています。当院では IVR センターが併設されており、他科の医師と連携して検査と治療を行っています。我々、診療放射線技師は血管造影装置や周辺機器の管理、撮影や使用物品などの術中記録を主に行っています。よりスムーズに検査、治療が行えるように医師を中心に看護師と共に連携して取り組んでいます。

始業点検

血管造影装置の動作確認、X 線キャリブレーションなど装置が安全に使用できるかを点検します。

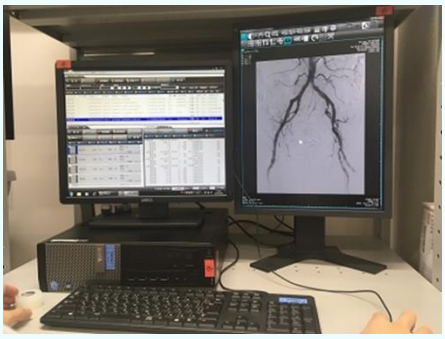
検査中業務

検査中に必要な画像を作成し、画像が適正に表示できているかを常時確認しながら、円滑に治療を進めます。撮影部位や使用材料など術中記録をデータベース化して管理しています。



画像処理

検査状況に合わせた画像を提供し、手技をスムーズに進められるように検査時に撮影したコーンビーム CT や撮影時に得られた画像を重ね合わせたりして画像を作成します。



検像業務

撮影した画像や処理した画像が正確に表示されているかを、最終的に確認して院内の画像サーバーに送信します。そうすることによって、院内の電子カルテなどで画像を閲覧することができます。